NIE実践報告

1．タイトル：☆ICT活用による学問調べ

2．学校名

北海道函館稜北高等学校

3．実践者名（代表者名）

藤島　尚子

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　200人

6．単元（本時の学習課題）名

ICTを活用した学問調べ

7．目標（狙い）

情報の検索スキルを身につけるとともに、より深く進路や学習・学問についての認識を深める。

8．評価の視点

インターネット、図書館、進路資料、新聞を活用して情報検索スキルを身につけ、担当した学問について、最近の動きや、学べる大学の学部を調べまとめて発表し、学問についての理解を深めることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

(1)新聞スクラップ　3時間　(2)新聞記事(スクラップされた記事)調べ　2時間
「ICT活用による学問調べ」全活動17時間中5時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

【学習展開】
　オリエンテーション　1時間・進路資料調べ　3時間・図書館資料調べ　2時間
　インターネット活用　1時間・新聞スクラップ　3時間・新聞記事調べ　2時間
　発表資料まとめ　2時間・クラス内発表会　1時間・クラス代表発表会(学年発表会)　2時間
【留意点】
「ICT活用による学問調べ」という活動の中の情報検索スキルの1つとして、新聞から情報を見つけて活用するという活動である。新聞記事は「大学」や「学問の動向」「学問に関する話題」という切り口で情報収集する。第一段階として、月に一度、学年全員(200名)を体育館に集め、任意に配られた新聞から「学問調べ」に使えそうな記事を各自がスクラップして学習室にためる。第二段階として、その後、スクラップの中から自分が担当する学問に関連する記事を担当者が探して使う。新聞から情報を検索するスキルを身につける。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

体育館での一斉記事スクラップは活動的に取り組んでいた。目的を持って記事を探す(情報検索)ことで、新聞を活用するスキルを身につけることができた。学問について深く考えることができるようになった。

12．成果と課題

求める情報を得る手段として、新聞を活用する方法を身につけることができた。「ICT活用による学問調べ」という流れの中で、新聞も情報検索の手段として活用できた。「学問調べ」では生徒が持っている「専門性のレベル意識」を修正し、進路を考える段階で選択肢を広げる重要な活動である。インターネットでキーワードを入力して検索するだけでは、本当に求める情報に達することはできないということを理解させる一助となった。今後の課題として、新聞を日常的に読む習慣をつける活動にも取り組む必要があるかもしれない。